

委員会報告 見る・聞く・学ぶ

総務産業常任委員会

— 地域の魅力・経済効果発揮 —

埼玉B級ご当地グルメ王決定戦事業

去る10月23日、産業振興に関する取組みについて、埼玉県産業労働部観光課で研修。B級グルメ事業の目的と経済効果や今後の展開、また第10回草加市での取組み等の説明を受けました。県内に



は歴史や文化に根ざした、多彩な「ご当地グルメ」があります。その魅力を多くの人に知ってもらうためのPRイベント事業として実施。話題性が得られるように投票してもらい、グルメ王の座を争う

グランプリ形式となっています。開催地は1年間をかけて準備をし、1千万円位の負担が必要です。経済効果は1億2千万円と推定。地元のカリスマを育成し、商工会・行政の協力が必要です。

文教民生常任委員会

— 県立大学講師を招き地域包括ケアシステムの課題を学ぶ —

医療・介護の連携は支援センターの役割



松伏町は、介護計画で地域包括ケアシステムの構築を目指しています。その中核施設『地域包括支援センター』を強化するための調査をしました。

今回、初めての試みで埼玉県立大学講師、小川孔美先生を招いて委員会を開催した。

現状の地域包括支援センターを視察し、「屋外に看板が無い、相談者が入りにくい、パンフレットに工夫が必要」など改善点の指摘がありました。

現地視察後の講義では、「支援センター職員が地域に出て問題点を知り、地域ネットワークの中心にいないといけない。議会では、地域包括ケアシステムを構築するために人員配置など必要な手立てを考えてください」との、注文を受けました。